



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本フィルコン株式会社

コード番号 5942

URL <https://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)名倉 宏之

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理・経営企画管掌

(氏名)齋藤 芳治

兼管理本部長

兼経営企画室長

(TEL)042-377-5711

四半期報告書提出予定日

2020年4月3日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績(2019年12月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	5,498	△8.4	△58	—	8	△94.5	26	△77.1
2019年11月期第1四半期	6,002	△11.3	113	△65.4	148	△48.5	114	△31.7

(注) 包括利益 2020年11月期第1四半期 77百万円 (—%) 2019年11月期第1四半期 △113百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	1.21	—
2019年11月期第1四半期	5.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	37,663	20,229	53.0
2019年11月期	37,814	20,278	53.0

(参考) 自己資本 2020年11月期第1四半期 19,971百万円 2019年11月期 20,032百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日~2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.2	550	△12.3	750	4.7	550	—	25.50

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年11月期1Q	22,167,211株	2019年11月期	22,167,211株
2020年11月期1Q	597,628株	2019年11月期	602,478株
2020年11月期1Q	21,568,371株	2019年11月期1Q	21,828,009株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(2019年11月期 4,900株)を含めております。また、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による物価の下押し圧力や新型コロナウイルスにより、景気の先行きが見通しにくい状況です。海外経済は、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速、新型コロナウイルスによる影響などにより下振れるリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループは持続的成長と中長期的な企業価値向上を目指すために、「100年超え企業として、次の100年も社会が必要とする製品・サービスを生み出し続ける企業集団」というグループ長期ビジョンを2019年度に定めました。この長期的視点に基づき、2020年度から2022年度までの3か年を対象として策定した中期経営計画の達成に向け、各事業の特性に応じた施策の実施に努めました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,498百万円（前年同期比8.4%減）となりました。営業損失は売上高の減少に加え、電子部材・フォトマスク事業において、前期より協議を続けてきたエッチング加工製品分野の基礎技術に関する特許権者へ支払うライセンス料を費用計上したことなどもあり、58百万円（前年同期営業利益113百万円）となりました。経常利益は8百万円（前年同期比94.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円（前年同期比77.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の事業で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他産業用フィルター・コンベア分野	「ふるい分け」、「ろ過」、「搬送」用の工業用金網の製造・販売

製紙製品分野では、売上高は国内海外ともに前年同期と比べ減少いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、食品業界の設備投資が進まずコンベアベルトの売上高が減少したため、売上高は前年同期と比べ大きく減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,041百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は売上高の減少に加え、退職給付費用の増加などにより183百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の事業で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体、ディスプレイ、プリント基板、MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターンニングの原版となるフォトマスクの製造・販売

エッチング加工製品分野では、売上高は前年同期並みとなりましたが、利益は基礎技術に関する特許権者へのライセンス料を費用計上したため、大きく減少いたしました。

フォトマスク製品分野では、前年同期と比べ出荷数量が減少したため、売上高は減少いたしました。前期末に実施した減損損失の計上により減価償却費が減少し、利益は増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は887百万円（前年同期比14.1%減）、営業損失は80百万円（前年同期営業損失20百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、プール、ろ過装置の設計・販売や防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売などを行っております。

プールの大型案件の完成引き渡し数が増加した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は305百万円（前年同期比43.9%増）、営業損失は44百万円（前年同期営業損失57百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗、マンション、駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は263百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は201百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異318百万円（前年同期比2.2%減）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し、17,398百万円となりました。これは主として、商品及び製品が134百万円、仕掛品が292百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が481百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、20,264百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具が707百万円増加した一方で、その他が640百万円、投資有価証券が138百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ151百万円減少し、37,663百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し、12,150百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が103百万円減少した一方で、賞与引当金が210百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ201百万円減少し、5,282百万円となりました。これは主として、長期借入金が75百万円、その他が122百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ102百万円減少し、17,433百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、20,229百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定が232百万円増加した一方で、利益剰余金が103百万円、その他有価証券評価差額金が176百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、2020年1月9日公表の業績予想から変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2020年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,653,390	3,657,795
受取手形及び売掛金	7,675,702	7,193,726
商品及び製品	3,221,099	3,355,989
仕掛品	995,124	1,287,677
原材料及び貯蔵品	1,385,142	1,394,320
その他	590,162	545,249
貸倒引当金	△38,693	△35,775
流動資産合計	17,481,927	17,398,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,662,887	5,718,031
機械装置及び運搬具(純額)	1,861,990	2,569,216
土地	4,318,812	4,337,270
その他(純額)	1,169,182	528,870
有形固定資産合計	13,012,872	13,153,388
無形固定資産		
のれん	353,531	344,088
その他	282,521	266,849
無形固定資産合計	636,053	610,938
投資その他の資産		
投資有価証券	3,741,896	3,603,632
リース投資資産	465,734	460,503
その他	2,481,961	2,441,809
貸倒引当金	△6,062	△6,062
投資その他の資産合計	6,683,530	6,499,883
固定資産合計	20,332,456	20,264,210
資産合計	37,814,384	37,663,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,328,706	3,353,959
短期借入金	5,175,941	5,158,323
1年内返済予定の長期借入金	1,500,275	1,396,447
未払法人税等	75,755	59,127
賞与引当金	78,054	288,211
その他	1,893,110	1,894,532
流動負債合計	12,051,843	12,150,601
固定負債		
長期借入金	3,272,295	3,196,367
退職給付に係る負債	232,442	248,201
環境対策引当金	106,280	106,280
長期預り敷金保証金	1,123,282	1,104,817
資産除去債務	83,847	83,857
その他	665,745	543,244
固定負債合計	5,483,894	5,282,769
負債合計	17,535,737	17,433,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,403	1,912,403
利益剰余金	14,444,179	14,340,899
自己株式	△323,217	△320,303
株主資本合計	18,718,948	18,618,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	689,362	513,338
繰延ヘッジ損益	△1,112	△331
為替換算調整勘定	256,498	488,971
退職給付に係る調整累計額	369,065	350,643
その他の包括利益累計額合計	1,313,813	1,352,621
非支配株主持分	245,884	258,617
純資産合計	20,278,646	20,229,821
負債純資産合計	37,814,384	37,663,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)
売上高	6,002,140	5,498,898
売上原価	3,946,432	3,585,997
売上総利益	2,055,708	1,912,900
販売費及び一般管理費	1,941,857	1,971,315
営業利益又は営業損失(△)	113,851	△58,414
営業外収益		
受取利息	2,426	2,015
受取配当金	13,336	14,864
持分法による投資利益	33,215	58,523
その他	24,631	46,196
営業外収益合計	73,609	121,600
営業外費用		
支払利息	18,983	16,823
その他	19,665	38,124
営業外費用合計	38,648	54,948
経常利益	148,811	8,237
税金等調整前四半期純利益	148,811	8,237
法人税等	26,490	△23,556
四半期純利益	122,321	31,793
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,076	5,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,245	26,137

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	122,321	31,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,132	△176,024
繰延ヘッジ損益	—	781
為替換算調整勘定	△169,159	196,077
退職給付に係る調整額	△11,293	△18,422
持分法適用会社に対する持分相当額	△32,971	43,021
その他の包括利益合計	△235,557	45,433
四半期包括利益	△113,235	77,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△116,802	64,945
非支配株主に係る四半期包括利益	3,567	12,282

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

米国会計基準を適用していない在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,493,041	1,033,526	212,473	263,099	6,002,140	—	6,002,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,550	17	—	1,567	△1,567	—
計	4,493,041	1,035,076	212,490	263,099	6,003,707	△1,567	6,002,140
セグメント利益 又は損失 (△)	319,233	△20,961	△57,470	198,672	439,474	△325,623	113,851

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△325,623千円は、内部取引にかかわる調整額△113千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△325,510千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,041,875	887,864	305,702	263,455	5,498,898	—	5,498,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153	525	90	—	768	△768	—
計	4,042,029	888,389	305,792	263,455	5,499,667	△768	5,498,898
セグメント利益 又は損失 (△)	183,677	△80,605	△44,274	201,380	260,178	△318,592	△58,414

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△318,592千円は、内部取引にかかわる調整額△293千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,299千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。